（参考資料）

日本不動産学会の研究助成制度についての考え方

日本不動産学会では、「田中学術奨励基金研究助成制度」及び「個人への研究助成制度」という会員向けの研究助成制度を運用しています。以下で二つの制度について簡単な説明を行うことで、会員の皆様の研究活動をより効率的に支援してまいりたいと考えています。

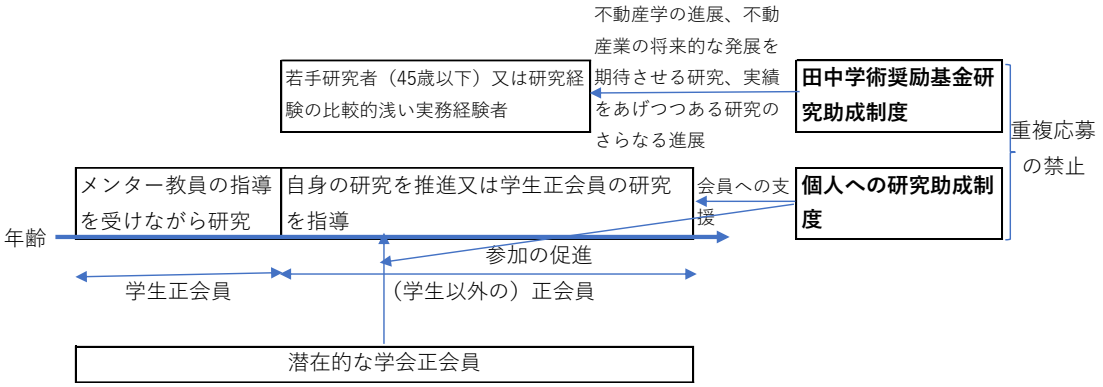
1　両制度の概要

（田中学術奨励基金研究助成制度（以下、田中助成という））

田中助成は、「不動産学の進展、不動産業一般の将来的な発展を期待させる研究、また、既に実績を上げつつある研究」を支援するものです。助成制度は若手研究者（45 歳以下）もしくは研究経験の比較的浅い実務経験者である正会員を対象としています。助成金額は 1 件あたり 10～50 万円程度で、年間数件の採択を予定しています。

（個人への研究助成制度（以下、個人助成という））

個人助成は、日本不動産学会の正会員の研究活動を広く支援することで、学会の活性化を図り、広く学会への参加を促すことを目指したものです。このため全正会員を対象とし、学生会員にはメンター教員の指導の下、研究を促進する仕組みを備えています。助成金額は 1 件あたり 10～50 万円程度で、年間数件の採択を予定しています。

3　両制度の関係

両制度は助成金額等を共通にするものですが、以下の図のとおり田中助成は主に業績のある若手研究者の研究活動を支援するものであり、個人助成は日本不動産学会の正会員の研究を広く助成するものです。二つの助成制度に重複して応募することはできませんので、各種助成制度の募集要項、関連規定からご自身にあった助成制度に応募頂くことをお願い申し上げます。